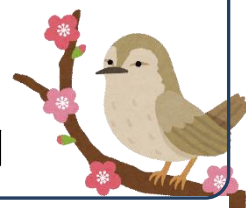




# 学校だより

3月



## ありがとう と 笑顔 があふれる学校をめざして

この言葉は、前任の小沼校長先生が5年前に作った六会小学校の目標です。私もこの言葉がとても好きで、六会小の子どもたちが、「ありがとう」と笑顔で言ってくれるように、この1年、朝会などの機会に語りかけてきました。でも、学校だけで子どもたちを笑顔にすることはできません。毎朝、子どもたちに「おはよう！」と声をかけてくださる、おはようボランティアの皆さんをはじめ、たくさんの地域の方々が見守りがあってこそ、子どもたちが心から安心して笑顔でいられるのだなと感じています。本当にありがとうございます。

「ありがとうと笑顔があふれる学校」を創っていくためには、学校と家庭そして地域の連携がとても大切です。その連携は人と人の会話から始まるのだと思っています。私もできる限りたくさんの保護者の皆様や地域の皆様と話をし、連携を深めることを通して「ありがとうと笑顔があふれる学校づくり」をさらに進めていきたいと思っております。これからも六会小学校の子どもたちのために、ぜひ、温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

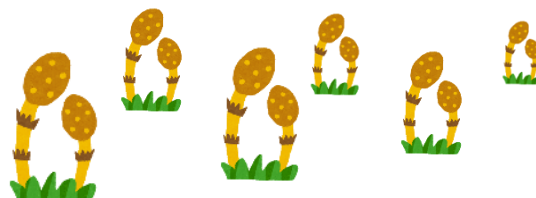
### < 3月の予定 >

7	水	6年奉仕活動、委員会活動、図書館専門員
8	木	お別れ集会、PC、校外委員旗振り講習会 図書館専門員
9	金	PC
12	月	お話会4年、SC
13	火	PC、図書館専門員
14	水	給食終了、予行練習、お話会1・2年 図書館専門員、SC
16	金	お別れ会、卒業式
17	土	校庭開放
19	月	お話会3年、図書館専門員
22	木	大掃除、図書館専門員
23	金	修了式

FLT:外国語講師来校日、SC:スクールカウンセラー来校日  
PC:パソコンサポート来校日、図書館専門員:図書館専門員来校日

### < 4月の主な予定 >

- 5 (木) 始業式、着任式、入学式
- 6 (金) 離任式
- 10 (火) 給食開始、
- 12 (木) 1年生を迎える会  
1年懇談会、
- 19 (木) 1年給食開始  
4・5・6年授業参観  
懇談会
- 20 (金) 2・3年授業参観・懇談会



### 情報セキュリティについて

今年度の調査によると、藤沢市の小学6年生の携帯電話等の所有率は、69.4%でした。そのうちの約半数がスマートフォンです。また、フィルタリングの設定をしている家庭は、約4割にとどまっています。家庭で携帯等やパソコンを利用する時間についてのルールがあるのは、35.4%ということでした。

4月に子どもたちが進級するタイミングで、スマートフォンなどを子どもたちに持たせるケースが増えてくるかと思えます。ぜひ、フィルタリングの設定をし、家庭でしっかりとルール作りをお願いします。学校では、情報モラル教育に取り組んでいます。

## 学校評価 結果のまとめと考察

今年も3・5年生の児童・保護者の皆さんにご協力をいただき、学校評価を行いました。紙面の関係でここでは、まとめと考察についてご報告します。詳しいデータ等は、ホームページでお知らせいたしますので、ご了承ください。また、先日、2月28日に行われた第3回学校評議委員会にて学校評価アンケートの結果について学校評議委員の皆さんに報告し、意見交換をさせていただきました。

A 学校が楽しい	児童・保護者ともに、元気に学校に通っていると感じているようであるが、5年生の児童は約83%であるのに対し、その保護者は約97%と、少し差が見られた。この親子間の差である14%の児童は、人知れず何らかの悩みや課題を抱えている可能性もあると考えられる。引き続き、楽しいと考えられる教育活動の工夫や、友だち作りの支援をして、100%に近い児童が楽しいと感じられるようにしたい。	児童 1,3,7 保護者 1
B あいさつ	児童の約80%近くはあいさつができておりと感じている。しかし教職員は45%程度であり、かなりの差が見受けられた。児童指導部から「アロハの約束」で挨拶をしようと呼びかけているが、まだそれほど成果を感じ取れていない。今後も児童が自ら進んであいさつができるように運営委員会によるあいさつ運動や職員による声掛けなどで誰にでも自分からあいさつできるような指導を引き続きしていきたい。	児童 2 保護者 2 教職員 10
C 生活	児童の多くはきまりを守ることができていると感じている。しかし、校内を走り回る児童が未だに多いことなどを考えると、もう一度きまりの確認が必要であると言える。自分には甘く、過大評価をしているのでは、とも考えられる。高学年が手本となり、低学年にきまりを守る姿を見せられるように指導していく必要がある。また、休み時間後、チャイムで授業が始められるように、学級指導で徹底するべきである。 また、十人に一人は困ったり、悩んだりした時に、誰にも相談できないと感じていることは重く受け止めるべきことである。児童の悩みや相談への対応は、今後もより一層大切にしていってほしい。今後も、この項目の%を0にすべく、児童理解を深めていく必要があるといえる。児童の言葉に耳を傾けて迅速に対応していきたい。	児童 6,8,9 保護者 3,4 教職員 3
D 学習	教師の多くが基礎的・基本的事項の定着を図る授業を行っていると感じているが、校内研究が普通の授業に活かされていると感じている割合は昨年度同様、約85%程度である。また児童は苦手な授業だと質問がしづらいと感じているようである。高学年になるにつれて積極的に授業に参加している児童は減っており、課題であると言える。グループ学習をしたり、個に応じた指導をしたり、主体的に活動できる授業作りであるアクティブラーニングを取り入れたりするなど、今抱えている課題をテーマにした校内研究を取り入れていく必要があると言える。	児童 4,5 教職員 2,4,5
E 安全	保護者の多くは児童の安全の確保や防犯の面で安心して児童を学校に通わせていることがわかる。しかし、災害時の行動を十分に把握している家庭は20%を切るまでに落ち込んでいる。大震災から時が経つにつれ、意識が薄れていってしまっているのかもしれない。保護者には、引き渡し訓練などに危機感をもって取り組んでもらうなど、大震災を危惧して行動してもらおうよう、声かけをしていくとよいかもかもしれない。 4月の懇談会に「災害時の対策」について説明を行うなどして、年に一度は各家庭でも相談できる機会を設けられるようにするなど、今後もより一層の安全対策の充実を図り、保護者と児童への周知を徹底させたい。また、安全な通学路を通して登下校するよう、職員一同、家庭と連携をとって考えていく必要がある。	保護者 5,6
F 情報公開	学校からの配布物に丁寧に目を通す保護者が90%いることや、学校行事やPTA活動に参加するようにしているという保護者が80%いることから、学校の様々な活動に対する保護者の関心が高いことがわかる。しかし、学校の教育目標や方針を知っているという保護者は65%である。この結果から、学校は保護者や地域の方々に対し、ホームページや学校だより等を今まで以上に積極的に活用し、教育目標や方針を丁寧に伝えていく必要がある。	保護者 7,8,9 教職員 9
G 校内体制	昨年度の反省から、掃除終了のチャイムを各学級で徹底させることが定着してきた。にもかかわらず、美しい学校であると思っている教職員は、67%と、昨年度と変わっていない。掃除時間が確保されていても、教員の目が行き届かない昇降口や階段などの出張掃除に、もう少し目を配ってもよいかもかもしれない。 係ごとの意思疎通・組織の機能性については、若い教員が増えていることを考え、細かいことでも具体的に確認し、引き継ぎを密に行っていく必要があると考える。また、この項目は、3年連続減少しており、2年前の93%に対し、今年度は57%にまで減少した。鍵や個人情報などを始めとする物の管理をすること、引き継ぎをノートやファイルに保存するなどを、徹底していく必要がある。	教職員 1,6,7,8

アンケート番号です

六会小学校のホームページです → <http://www.fujisawa-kng.ed.jp/emuts/>  
 給食だよりを毎日掲載しています。また、行事の様子などもときどき掲載しています。